

平成28年度 朝日小学校自己評価書「学校評価計画」

作成年月日 平成28年4月28日

学校名 旭川市立朝日小学校

1 本年度の重点教育目標

気づき、行動し、ともに成長する子の育成

2 本年度の経営の最重点目標

(1) 適材・適所の学年分掌・校務分掌【学校運営】
(2) 組織的・チームとしての指導体制【職員組織】
(3) 社会に開かれた教育課程の創造【教育課程】

2 本年度の指導の最重点目標

(1) 基礎基本の定着：長期スパンでの学力定着【知】 学習意欲の向上：アクティブ・ラーニング【知】
(2) 道徳の時間の充実：特別の教科道徳【徳】 キャリア教育の推進：自尊感情の醸成、志の教育【徳】
(3) 健康管理能力の育成・食育・体力・運動能力の育成【体】

3 自己評価 <3.3以上A, 2.7以下C>

【達成状況】 A：十分である， B：概ね十分である， C：やや不十分である， D：不十分である

評価項目	評価指標	備考			
		◎成果 □取組	重点や校務分掌との関連 (成果指標の基準)	評価方法	時期
学校運営	①報告・連絡・相談を徹底し、組織的にチームとして業務を推進している。	□	経営の最重点【職員組織】	自己評価	12月
	②各教師の特長を生かした教育活動の推進に努めている。	□	経営の最重点【学校運営】	自己評価	12月
教育課程	③地域の教育資源の活用と児童の実態に合わせた教材化の工夫に努めている。	□	経営最重点【教育課程】	自己評価	12月
	④家庭・地域を巻き込んだ教育活動の推進に努めている。	□	教務部運営の重点	自己評価 保護者	12月 12月
研修	⑤アクティブ・ラーニングの視点を取り入れた授業改善を推進している。	□	研修部運営の重点	自己評価	12月
	⑥道徳、キャリア教育、小学校英語、ユニバーサルデザインなどの研修が充実している。	□	研修部運営の重点	自己評価	12月
生徒指導	⑦子ども同士の心の結びつきを深める取組を工夫し、いじめの未然に防止に努めている	◎	いじめ防止～生徒指導部 (児童A+Bが95%以上) ＊市教委いじめ防止アンケートを活用	自己評価 保護者 児童	12月 12月 6月
	⑧朝日しぐさ・朝日構えなど家庭や地域との共通理解につ	□	生徒指導部経営の重点	自己評価 保護者	12月 12月

	ながる情報交流と適切な指導に努めている。				
学 習 指 導	⑨子どもが、基礎・基本を身に付け、主体的、協働的に学習に取り組むようになってきている。	◎	指導の重点【知】教務部 (児童A+Bが5%増加)	自己評価 保護者 児童	12月 12月 5月 12月
	⑩家庭学習の習慣が身に付き、自学自習の態度が育まれている。	◎	指導の重点【知】教務部 (児童、保護者A+Bが80%以上)	自己評価 保護者 児童	12月 12月 5月 12月
	⑪コンピュータ等ICTを活用した学習指導に取り組んでいる。	□	前年度改善課題～教務部	自己評価 保護者 児童	12月 12月 12月
道 徳 教 育	⑫特別の教科道徳の時間の視点を取り入れた指導の工夫に努めている。	□	指導の最重点【徳】教務部	自己評価 保護者 児童	12月 12月 12月
	⑬「私たちの道徳」を活用するなど家庭や地域と連携した道徳教育の推進に努めている。	□	指導の最重点【徳】教務部	自己評価 保護者 児童	12月 12月 12月
健 康 ・ 体 力	⑭生活習慣アンケートや運動能力テストなど、家庭や地域と連携し、健康な生活習慣が育成されている。	□	指導の最重点【体】保体部 保体部運営の重点	自己評価 保護者 児童	12月 12月 12月
	⑮元気アップタイムや児童会の取組により運動を楽しむ児童が増えている。	◎	指導の最重点【体】保体部 (児童A+Bが80%以上)	自己評価 保護者 児童	12月 12月 12月
そ の 他	⑯マイノートを活用するなどして自己理解を進め、将来への夢や希望をはぐくんでいる。	□	指導の最重点【徳】教務部	自己評価 保護者 児童	12月 12月 12月
	⑰地域行事への積極的な参加を促すなど地域行事への協力を努めている。	□	前年度継続課題	自己評価 保護者 児童	12月 12月 12月
	⑱学校だよりやホームページ等を利用して、学校の取り組みを知らせている。	□	経営最重点【教育課程】	自己評価 保護者	12月 12月
	⑲校舎・校地の安全かつ機能的活用を目指し、施設設備の点検整備、教材教具の適切な整備・維持に努めている。	□	管理部 運営の重点	自己評価 保護者 児童	12月 12月 12月

*上記の評価項目や評価指標については、今年度重点的に取組、必ず成果を挙げたいと考えている項目である。

*成果指標(子どもたちの変容)や取組指標(教師の取組、指導の手立)などで示してある。
評価材料は(本年度の教育課程・各種実施要項・計画書をはじめ、教師や児童・保護者・地域のアンケート、学力テストや体力テスト諸検査等)などである。